



本マップは東温市、東温市観光物産協会、愛媛大学法文学部人文学科観光まちづくりコース（観光文化系）が連携して制作しました。制作にあたり、地域に学ぶ「Toon City Tourism Study Workshop」を開催し、1年間かけて成果をまとめました。Study Workshopでは、東温市の地域資源についてディスカッションし、現地での調査をもとにマップを作成しました。この木の葉は、今回参加者が見つけた東温市の魅力ある資源ひとつひとつを指しています。みんなの手で守り大切に育てていきたいと思っています。

本マップは、東温市観光物産協会「東温版エコツーリズム・エコミュージアム実現事業」経費、愛媛大学 法文学部人文学科演習・実践授業実施経費を使用いたしました。

東温市 きたがた みなみがた MAP

みずと 街道のまち

2013.02 2014.09増刷

本マップは、現地調査を行った当時のスタッフの思いや感じたことを生かすため、現在は変わった景観なども当時のままで紹介しております。

Toon City Map in kitagata・Minamigata

東温市 北方 南方地区

金毘羅街道沿いに位置する北方・南方は、米作りが広がる農村部と街道沿いに連なる町場の二つの顔を持っています。重信川の扇状地に拓けたこの地域は、降水が地中に溜まらないことが特徴です。そのため、北方にはため池が多くみられます。地域一帯に水が行き渡るように張り巡らされた水路には、先人の知恵が詰まっています。

重信川扇状地の頂点にある北方三島神社の常夜灯は、市の有形文化財に指定されており人々の往来を安全に導いたとされています。市内の常夜灯に彫られている「金」という文字は「金毘羅さん」に灯明をあげてお祀りをした名残です。北方・南方には旅人の道標となる石灯籠や常夜灯、石仏が多く残されています。

揚神社で行われている北方獅子舞は、市指定無形文化財です。舞の奉納では、所作の勇壮さ、太鼓の迫力が感じられ、現在も地域の



文化として大切に受け継がれています。揚神社には、樹齢七百年と推定されるクスノキが存在します。クスノキの下で空を仰ぎ見ると、七百年間北方・南方を見守り、人々が集うハレの場を支えてきたクスノキの偉大さを感じることができます。水路の水の流れは、田畑に実りをもたらした山間から町場へと季節の訪れを感じさせてくれます。北方三島神社に立ち、農村の風景を眺めながら水路に沿って川上小学校まで下ると、田畑を潤してきた水路は金毘羅街道を流れる水路とぶつかります。川上小学校は海拔約一三四m、松山城のある城山の高さにほぼ等しいといわれています。川上小学校が位置する金毘羅街道は参拝客の往来により発達し、北方・南方は宿場町として賑わっていました。時代を経て、宿場町は商店街や民家へと姿を変え、現在では子供たちが行き交う風情ある町並みを形作っています。

ここ北方には、平成十年にふるさと交流館「さくら湯」が開設され、その後「さくら市場」が併設されました。今では温泉と直売所が隣接する地域交流の場として、東温市で一番の集客集を誇っています。さくら市場では、農家一軒一軒が大切に作ったお米や農作物を通して、作り手と買い手の新しい交流が生まれています。美しい農村と金毘羅街道の町並み、歴史と文化を感じる北方・南方を、水の流れと共に歩いてみてはいかがでしょうか。



▲揚神社から北に抜ける秘密の裏道
さわやかな風が吹きぬけます



クスノキの大樹は
北方・南方を見守り続けた



水路と共にまちを歩く

北方・南方を東西に走る金毘羅街道には、町場と街道に並行して水路が巡らされており、その存在は長く人々の暮らしを支えてきました。ここでは、水路と共に歩くことでみえてくる北方・南方の歴史や暮らし、そしてその中で生まれた先人の知恵などを紹介します。



歩き方指南

- ① 金毘羅街道を象徴する4つのポイントを巡り、さまざまな時代を経て築かれた街道の足跡と文化、暮らしを確かめるべし！
- ② 水路に流れる水の音に耳を傾け、地形によって変化する音を楽しむべし！
- ③ 街道を外れた路地裏にも足を運び、自分だけのポイントやルートを見つけるべし！



川上小学校



道沿いに1ヶ所、北側に大きく水が引き込まれた場所があります。これは、かつて水路から家の敷地内に水を引き込んだ「坪江」を復元したものです。縦3m×横5m程の広さがあり、水の出入り口は2ヶ所設けられ、坪江に降りるための階段もあります。この坪江に触れることでみえてくる、洗い場や坪江の使われ方と歴史、人々の暮らしの変化などを、次の世代に伝えて行く役目を持っているのかもしれない。



町西児童遊園地



川上神社

かつて金毘羅街道沿いの家々では、水路に作った階段で水仕事をっていました。地域の人々はこのことを「洗い場」と呼びます。その痕跡は今でも数多く残っています。段数や形の違いに注目しながら歩くのも、金毘羅街道を散策する醍醐味です。

2



地下から染み出す水

3



町家

4



昭和30年代、通学路としても利用されていた金毘羅街道沿いの「スーパーにゅうのや」さん。そこで飼われていた「小さな猿」と遊ぶことが、当時の子供たちにとって学校帰りの楽しみでした。かつては、この周辺に川内劇場と名越座という2つの劇場があり、小学校の学芸会からプロの講演まで行われ、多くの地域住民を楽しませていたといえます。上映作品が決まれば電信柱にポスターを貼って宣伝し、正月や祭りには多くの人で賑わいました。水路に沿って歩いていくと自然とこの道で生まれた地域の人々の思い出を垣間見ることができます。

昭和30年代に全盛期を迎えた金毘羅街道は、宿場町としての機能をもち商売人の町と呼ばれていました。戦前までは、街道沿いの水路でお米を研ぎ野菜を洗い、服の洗濯やお風呂の水にと、さまざまな生活の場面でこの水路が使われていました。ここに住むお母さんたちのコミュニケーションの場ともいえます。かつては子供が水路に入って遊んだり、しじみや魚が獲れたりしたとのこと。この水路の存在によって人々の特徴ある暮らしの景色がつかれました。

金毘羅街道沿いにみられる水路に架かる小さな橋を「床板（しょうばん）」と呼びます。昔は木や丸太でしたが、現在では頑丈なセメントなどを使用しています。水路にはたくさんの床板がみられ、個々の家ならではの工夫がみられます。短い床板や長い床板、車が通る床板、人が歩けるだけの細い床板、細工のある床板。街道沿いを歩きながら、皆さんは何枚の床板を見つけられるでしょうか。ひとつひとつの床板に注目してみてください。



徹底取材!!

おいしさの秘密はここにアリ! ～北方・南方の食のルーツを探る～

さくら市場では東温市内で獲れた農作物が販売されています。ここでは、東温をめぐる四季折々の自然の豊かさと農家の想いに着目し、東温市のおいしいお店の、おいしい食材が生まれる秘密をご紹介します。

Spring

- 1位 イチゴ
- 2位 シキミ
- 3位 弁当

他にも春キャベツ、枝のこ、新玉ねぎ、アスパラガスなど、鮮やかな緑色をした春野菜が並び春の訪れを感じさせてくれます。体の代謝を活発にしてくれるだけでなく、春野菜に含まれる苦みにはデトックス効果もあります!

Summer

- 1位 シキミ
- 2位 弁当
- 3位 桃

かぼちゃ、トマト、なす、きゅうり、枝豆、オクラなど夏の太陽の日差しをたっぷり浴びたみずみずしい夏野菜がずらりと並んでいます。夏の火照った体を冷やしてくれる効果に加え、不足しがちなビタミンもしっかりと補うことができます!

さくら市場 売れ筋ランキング!

Autumn

- 1位 シキミ
- 2位 弁当
- 3位 いちじく

柿、栗、さつまいも、里芋、ごぼう、蓮根、春菊など食欲の秋の訪れを感じさせてくれる食材が並びます。秋の野菜は体にやさしく、胃や腸など消化器官の働きを高め調子を整えてくれます。繊維質を多く含む食材は便秘解消や風邪予防にも効果アリです!

Winter

- 1位 イチゴ
- 2位 シキミ
- 3位 弁当

みかんや白菜、ほうれん草、小松菜、大根、にんじん、ねぎなどの冬野菜も豊富です。冬野菜は冷えた体を温め、喉や鼻腔の粘膜を強くしてくれることから風邪予防になります。ビタミンCが多く、お鍋にしてその煮汁までおいしくいただければさらに効果UP!

農家のこだわりが育てる野菜と地域

○月 △日 晴れ

①おいしいお米を出荷する秘訣は、重信川から引いた水と標高差、お米の干し方にあります! 天日干しする際には、収穫したお米の束をそれぞれ7:3の黄金比率に分けて竿にかけることが最大のポイントです。最初の7に次の3を重ねていくことで全体の7割を雨や風から守ります。北方の農家のお米は毎年予約でいっぱいという人気ぶりです。



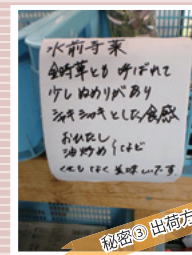
秘密① 7:3



秘密② 鴨

②北方の農村を散策していると鴨の群れを発見! これらの鴨に虫や雑草を食べさせることで無農薬栽培ができます。消費者に安心して安全な野菜を届けたいという農家の熱い思いが伝わってきます。皆さんもこの働き者の鴨たちに会いに来てみては?

③さくら市場には農家のこだわりがあります! ここでは、出荷物は生産者別でかごに入れて並べられ、その特徴やポイントをPRしている方もいます。よく見かけられるのがポップですが、紙や段ボールに手書きのものが多く、その内容や字面から作り手の想いや人柄が伝わってきます。また、お客さんの中にはお気に入りの農家の商品を目当てに訪れる方もいるそうです。



秘密③ 出荷方法



秘密④ さくら市場での交流

④おいしい作物を育てるためには生産者が元気でなくてはなりません。そこで、さくら市場に出荷する農家に元気の秘訣を尋ねてみました! 退職後に農業をする高齢者の方が多い中、毎日頑張れるのは「ここに出荷するという毎日の目標があるから」! 「お客さんの顔を直接見ることができたり、実際にお客さんと会話したりすることが楽しみだから」だそうです。お客さんとの距離が近いことがやる気の持続に繋がっているようです。



もんじゅり

看板犬「ラブちゃん」が迎えてくれる、アットホームな雰囲気のお店です。内装も木材をベースとし、あたたかい空間を作り上げているためリラックスしてのんびりと食事を楽しめます。ボリュームたっぷりの定食やペット同伴の方にはペット同伴の方はペット同伴の方はペット同伴の方は...

ト用食事も提供されるなど、幅広い顧客層に大人気のお店です。お散歩がてら立ち寄ってみたいはいかがでしょうか?



Bakery beans

北方・南方を散策する際には、東温の農産物の恵みと風味がぎゅっと詰まったBakery beansのパンをぜひ旅のお供に!

地域の特産「もち麦」を使用した「もち麦パン」を始めとする、栄養たっぷりのパンがずらりと並べられています。こだわりのパンは、焼き立てのいい香りを外にも届け、つついづい足を運びたくくなります。女性や子供が立ち寄りやすいあたたかい雰囲気のお店です。



さくらの湯

家から届けられ、その食材を生かしたお弁当やお惣菜が並んでいます。東温ブランドあるもち麦を使用した、もち麦とろろごはん、はつたい粉アイスは、もち麦の風味と食感を最大限に生かした定番人気商品です。

さくらの湯は、東温市唯一の公営の温泉です。なめらかな泉質は肌に優しく、開業から地域内外の人々に愛されています。心も体も癒し、食欲を増進させること間違いなし! 温泉の湯りには、さくら市場で、野菜やお弁当を買います! 東温市内で育てられた野菜が毎朝農

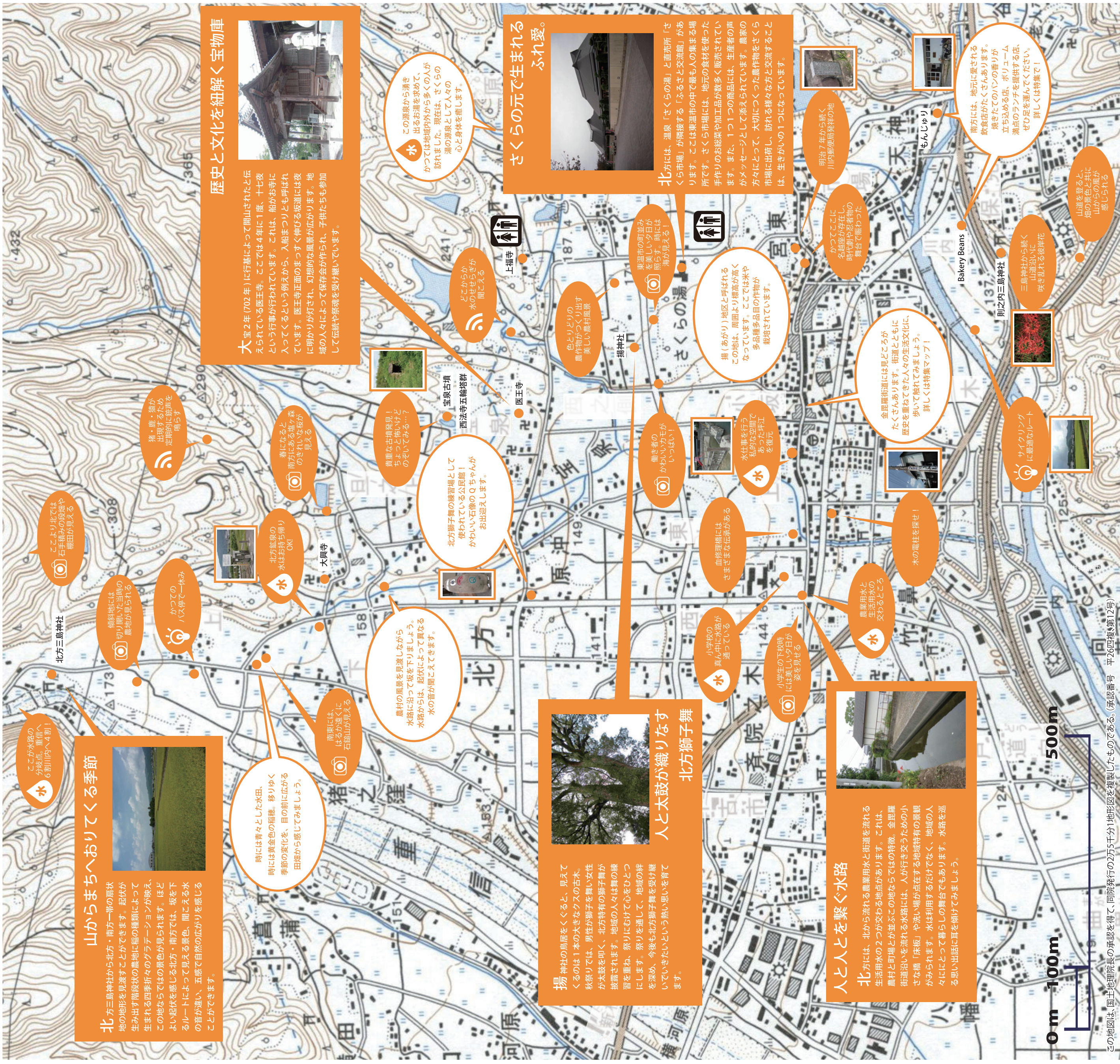


シキミは、年間を通して地元の人々に愛されており、春夏秋冬売上額1位を誇っています!

シキミの秘密!

東温市 きたがた みなみがた MAP

金 毘羅街道の歴史ある町場と背後にたたえる農村の2つの顔を持つ北方・南方。街道周辺の民家や商家からは、宿場町としての歴史と賑わいを感じることができます。北方の農地を潤す水路や金毘羅街道に流れる水路が作り出す景観には、この地域の生活文化や先人の築いた知恵が詰まっています。何気ない景色から地域の歴史と文化を探ってみましょう。



山からまちへおりてくる季節

北方三島神社から北方一帯の風景の地形を見渡すことができます。起伏が生み出す階段状の農地に稲の種類によって生まれる四季折々のグラデーションが映え、この地ならではの景色が見られます。ほどよい起伏を感じる北方・南方では、坂を下るルートによって見える景色、聞こえる水の音が違い、五感で自然の広がりを感じることができます。

時には青々とした水田、時には黄金色の稲穂。移りゆく季節の変化を、目の前に広がる田畑から感じてみましょう。

農村の風景を早速しながら水路に沿って坂を下りましょう。水路からは、起伏によって異なる水の音が聞こえてきます。

北方獅子舞の練習場として使われている公民館！かわいい石像のQちゃんがお出迎えます。

人と太鼓が織りなす北方獅子舞

揚神社の鳥居をくぐると、見えてくるのは1本の大きなクスの古木。秋祭りでは、男性が獅子を舞い女性が太鼓を叩く、北方特有の獅子舞が披露されます。地域の人々は舞の練習を重ね、祭りにむけて心をひとつにします。祭りを通して、地域の絆を深め、今後も北方獅子舞を受け継いでいきたいという熱い思いを育てます。

血修理殿にはさまざまな伝説がある

水 小学校の真ん中に水路が通っている

水 小学生の下校時には美しい夕日が見える

水 農業用水と生活用水の交わる場所

木の霊柱を探せ！

人と人をつなぐ水路

北方には、北から流れる農業用水と街道を流れる生活用水の2つが交わる地点があります。これは、農村と町場とが並ぶこの地ならではの特徴。金毘羅街道沿いを流れる水路には、人が行き交うための小さな橋「床板」や洗い場が点在する地域特有の景観がみられます。水は利用するだけでなく、地域の人々にとって暮らしの舞台でもあります。水路を巡る思い出話を耳を傾けてみましょう。

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26四環第12号)

歴史と文化を紐解く宝物庫

大宝2年(702年)に行基によって開山されたと伝えられている匠王寺。ここでは4年に1度、十七夜という行事が行われています。これは、船がお寺に入ってくるという例えから、入船まつりとも呼ばれています。匠王寺正面のまっすぐ伸びる坂道には夜に明かりが灯され、幻想的な風景が広がります。地域の人々によって保存会が作られ、子供たちも参加して伝統や祭礼を受け継いでいます。

水 この源泉から湧き出るお湯を求めて、かつては地域内外から多くの人が訪れました。現在は、さくらの湯の源泉として人々の心と身体を癒します。

どこからか水のせせらきか聞こえる

上福寺

さくらの元で生まれるふれ愛。

北方には、温泉「さくらの湯」と直売所「さくら市場」が隣接する「ふるさと交流館」があります。ここでは東温市の中で最も人の集まる場所です。さくら市場には、地元の食材を使った手作りの惣菜や加工品が数多く販売されています。また、1つ1つの商品には、生産者の声やメッセージとして添えられています。農家の方々にとって、大切に作った農産物をさくら市場に出荷し、訪れる皆さんと交流することは、生きがいの1つになっています。

色とりどりの農作物が作り出す美しい農村風景

揚神社

東温市の町並み、美しい夕日、時には海が見える！

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

揚(あかり)地区と呼ばれるこの地は、周囲より標高が高く多品種多目的作物が栽培されています。

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

金毘羅街道には見どころがたくさんあります。街道とともに歴史を重ねてきた人々の生活文化に、歩いて感じてみましょう。詳しくは特集マップ！

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

山道を登ると、畑の景色と山からの風が感じられる

三島神社から続く山道沿いに咲き乱れる彼岸花

サイクリングに最適なトレート

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

水 水仕事を行う私的な空間であった坪江を復元

北方・南方は起伏によって異なる水の音や子供たちの遊ぶ声、稲穂の香り、北方獅子舞を練習する太鼓の音など、地域の魅力や風情を全身で感じる事ができます。菖蒲堰から流れる水と共に歩けば、見渡す限りの田園に出会うことができます。また、かつて往来で賑わった金毘羅街道は、現在では子供たちの通学路として元気な声が飛び交っています。街道沿いの水路は、時には石鎚詣に

古き街道は 人々の 往来を知る